



平成22年10月4日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド
代表者名 代表取締役社長 関戸 正実
(コード番号 9878 東証第二部)
問合せ先 取締役執行役員管理部長 弓削 英昭
TEL. 03-6279-0562

(訂正・数値データ訂正あり) 「平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

平成22年9月24日に発表いたしました「平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部に訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所は___を付して表示しております。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正理由

「四半期決算短信」提出後、「四半期報告書」提出までの間に、監査法人による四半期レビューで指摘を受け、確認した結果、訂正が必要と判断したため訂正するものであります。

2. 訂正箇所

【サマリー情報】

4. その他

(訂正前)

- (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外変更 無

(訂正後)

- (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外変更 有

【添付資料】

3ページ

2. その他の情報

- (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(訂正前)

- ①簡便な会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(訂正後)

①簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(四半期損益計算書)

前第2四半期累計期間において、特別損失の「その他」と表示しておりました「固定資産除売却損」は、特別損失の総額の100分の20を超えたため、当第2四半期累計期間では区分掲記することとしました。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「退職給付引当金の増減額」、「役員退職慰労引当金の増減額」及び「固定資産除売却損益」は重要性が増加したため、当第2四半期累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「退職給付引当金の増減額」は△4,793千円、「役員退職慰労引当金の増減額」は1,440千円、「固定資産除売却損益」は1,269千円であります。

3. 四半期財務諸表

(訂正前)

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)
(省略)		
特別損失		
たな卸資産評価損	18,630	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	12,200	—
その他	1,269	<u>16,438</u>
特別損失合計	<u>32,100</u>	<u>16,438</u>

(省略)

(訂正後)

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)
(省略)		
特別損失		
<u>固定資産除売却損</u>	<u>—</u>	<u>15,058</u>
たな卸資産評価損	18,630	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	12,200	—
その他	1,269	<u>1,380</u>
特別損失合計	<u>32,100</u>	<u>16,438</u>

(省略)

3. 四半期財務諸表

(訂正前)

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	12,200	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,964	7,768
受取利息及び受取配当金	△9,218	△7,592
支払利息	19,895	19,579
売上債権の増減額 (△は増加)	△58,111	△5,012
(省略)		
その他	△27,586	<u>6,278</u>

(訂正後)

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	12,200	—
<u>退職給付引当金の増減額 (△は減少)</u>	<u>—</u>	<u>△41,491</u>
<u>役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)</u>	<u>—</u>	<u>4,170</u>
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,964	7,768
受取利息及び受取配当金	△9,218	△7,592
支払利息	19,895	19,579
<u>固定資産除売却損益 (△は益)</u>	<u>—</u>	<u>15,058</u>
売上債権の増減額 (△は増加)	△58,111	△5,012
(省略)		
その他	△27,586	<u>28,541</u>

以 上